

# 「愛知県におけるアレルギー疾患の実態調査」報告

## 研究計画

倫理番号：HM19-272（藤田医科大学）

回答者数：11,126名

### 【実施期間】

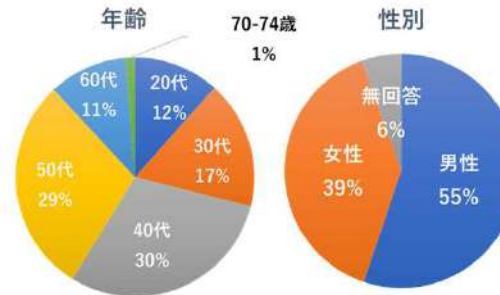
2020年2月から7月の6か月間

### 【対象】

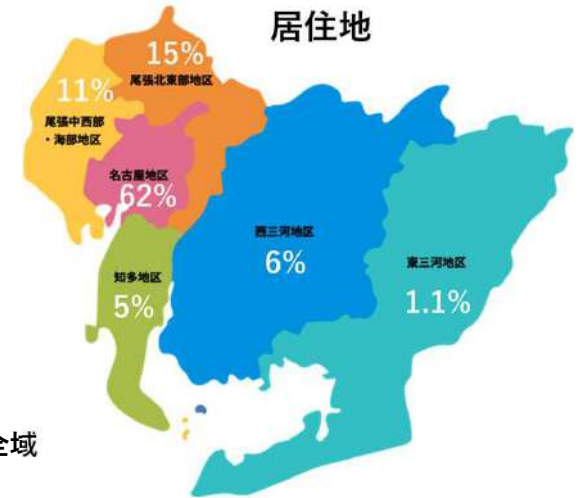
セントラルクリニック（愛知県名古屋市）で健康診断を受ける者

### 【選択基準】

- 本研究の参加にあたり、紙媒体で配布した説明文書を読み、理解を得た上、本人の自由意志による文書同意が得られた患者
- 同意取得時に20歳以上75歳未満の患者



- 年齢、性別、居住地は多様で、愛知県全域を反映する構成と考えられた。



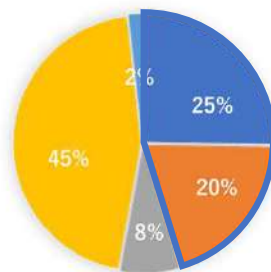
## アレルギー有症率と治療の実態

### アレルギーの有無



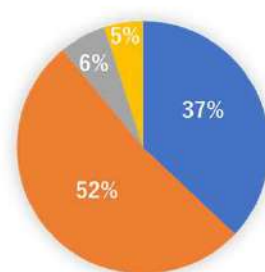
- 受診経験は約半数のみ。
- 治療効果の満足度は低い。

### 治療の選択



- 期待通りで満足
- 期待通りではないが問題はない
- 不満・期待通りではない
- 無回答

### 治療の満足度

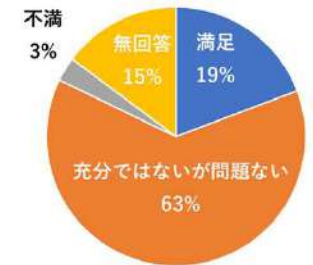


## アレルギー疾患に関する情報の入手経路

### アレルギー疾患の情報源 重複あり

医療関係者から	5,466
インターネット	6,922
書籍	979
講演会やセミナー	150
知人	2,409
その他	591

### 情報の満足度



- 医療機関、インターネットを通じて、治療満足度を高められる情報提供が必要。

### 通院した場合の疾患毎の治療に対する満足度（比率）

疾患	期待通り	期待通りではない
アトピー性皮膚炎	59	41
気管支喘息	74	26
目のアレルギー	76	24
アレルギー性鼻炎	63	37
じんましん	68	32
食物アレルギー	60	40

- 医療機関の受診は治療満足度を上げる。
- 疾患毎に満足度に偏りがある。

- 愛知県において、アレルギー疾患の罹患を疑う率は約75%。
- 医療機関を受診していない場合は多く、適切な治療を受けられていない人も多い。
- 医療機関を受診することで治療満足度は上がるものの、期待通りの効果を感じられていない人も少なくない。
- 病診連携による医療提供体制を充実させ、患者が適切な時期に重症度に合わせた治療を受けられる（専門施設にアクセスできる）ようにすること、診療に関する情報提供を充実すること（啓発すること）が必要である。（2022年 日本アレルギー学会にて発表済み）